

環境負荷が少ない  
砕石地盤改良技術

三輪建設

## 「エコジオ工法」

三輪建設（三島市、三輪裕介社長）は、静岡県内で初めて、住宅に使える砕石の地盤改良技術「エコジオ工法」を写真Ⅱを導入した。

地盤改良機により、円柱状に砕石を充填（じゅうてん）する地盤改良技術。住宅の地盤改良では一般的に、セメント系固化材や鋼管杭が使われているが、同工法では砕石のみを用いる。砕石は自然石のため、土壌や地下水を汚染せず、地中に人工物を残さない。環境負荷が少ない。また、施工データを管理システムで暗号化。エコジオ工法本部サーバーのみで暗号を解読、帳票化することにより、施工記録の改ざんを防止する。

同工法は、三重大学と尾鍋組（三重県松阪市）の共同研究に基づく技術。国土交通省の新技術情報提供システム（NETIS）に登録されている。

問い合わせ先は三輪建設エコジオ事業部

電話055(913)1815。

